「56会」(昭31年卒)は元気ですヨ!!!

1956年(昭31年)卒業の私達は、「56会」と称し月に1回以上いろいろな集まりを開いています。はじまりは、正確なことは忘れましたが、我々が30代後半に少人数で始まりました。当初は、仕事が忙しい年代でもあり、時々会って、上京した先生方や同級生をもてなすために集まり、一杯やっていたのがはじまりでした。その後、世話役が決まり、毎年新年会を開き、在京の同級生を集めようと努力しはじめたのです。私自身の中では、卒業以来会っていない仲間に「会いたい」、そして他の皆にも「会わせたい」という思いで、電話や手紙で連絡したものです。さらには、薬学部出身として、狭い業界にいるため、異業種の同級生と話をしたいとの思いもありました。

40年余りの間に、亡くなった人、連絡が取れなくなった人、返事が来ない人、転勤などで東京を離れた人などを除いて、現在25 名と連絡が取れる状況までになりました。東京鶴城会への関わりは、同級生のG君(故人)が鶴城会の初期の頃に、世話人らしいことをやっていて、熱心に我々を誘ったことが始まりでした。そして後日、G君のことでは、鶴城会の先輩方に大変お世話になることになりました。彼の熱心な勧誘が、現在の我々に引き継がれているのです。皆が定年を迎え、それまで新年会のとき1回だけ会うのを大幅に変え、月1回のゴルフコンペ、月1回のマージャン会とその後の飲み会、新年会(2次会はマージャンとカラオケ)、秋の1泊旅行(マージャンとカラオケ)、そして秋のゴルフ大会(1泊で家族参加)としました。



参加人数はそれぞれの企画や日時で異なりますが、8名から20名が集まります。いずれも話題の中心は、ご他聞にもれず、健康の話ですが、政治の話も、高校時代の話しも盛り上がります。世話人は、ゴルフ(1~2人)、その他(2人)で運営しています。一番大変な場所の確保と人数の確認は、出来るだけ固定した日時と場所で行い、世話人の負担を軽くしています。

少しずつ体力的に衰える年齢になり、記憶もあやふやになりました。 後どれくらい続けられるかなと思う今日この頃です。古希の祝いをやりま したから、次は喜寿を目標にガンバリたいと思います。

島田 勝年(昭31年卒)

2010年東京鶴城会♥へ

足を運んでくださ~い

こんにちは。私は昭和58年卒の旧姓 鍬田佳代子(くわた かよこ)です。聖子ちゃんブームで、かわいこぶりっこが流行していた当時、私はバスケット部に所属し、流行に逆行し髪はベリーショートで、ぶりっこしたい気持ちと葛藤しつつ?筋トレにランニングにジャーンプに励んでおりました。コートネームは「るい」でした(ご存じの方いらっしゃいませんか~(*^_^*)。バスケに流れてしまったため、体育館と体育教官室の思い出しかありません(>_<)

時は流れ、ぶりっこできなかった反動でバブル期を満喫し?、現在、神奈川県海老名市に住んでいます。ここの風景は、出身地の城南町に似ています。私の実家からは、朝日は阿蘇の山の彼方から昇り、雁回山を経て、有明の空に陽は沈んでいきました。春は緑川の堤防を彩る菜の花、田んぼの上空から聞こえるひばりの鳴き声、夏の雨が降る前の香り、夜には遠くから響く蛙の鳴き声。秋は風になびく黄金色の稲、もの哀しいような陽だまり。冬の阿蘇の山々に積もる雪、冷たく澄んだ夜空の星。

現在も、相模川には桜、海老名の田んぼを渡る草いきれ、初夏の夜、窓を開ければ遠くから聞こえる蛙の鳴き声、大山の隣に富士山の山頂がのぞめ、美しい夕焼けを眺めることができます(先月、海老名ジャンクションが開通し、益々、交通が便利になりました。ロマンスカー停止駅へとしても申請中みたいです)。そんな私は思いがけないご縁で、東京鶴城会の幹事会のお一人であり、しかもバスケの先輩にお声をかけて頂き、東京鶴城会の集まりに参加させて頂くようになりました。ぜひぜひ、私の同期みなさん、そして私の先輩や後輩のみなさまも、東京鶴城会へいらして下さいね! (だって、私の同期はまだどなたもご参加頂いていないんですっう。)

さて私は只今、フラメンコとアロマセラピストの勉強をしております。フラメンコを習っていらっしゃる方、ぜひ、セビジャーナスを一緒に踊りましょう♪セラピストとしては、お勉強のひとつとして、マッサージを先生のお教室で実施しております。アロマの香りと施術で、リンパの滞りを促し、リラックスして頂けるよう心掛けております。まだまだ技術も未熟ですが、よろしかったらお声かけて下さいね。

そんなこんなの高校当時は「るい」ですが、当日は、 受付などでお手伝いをする予定です。みなさんによい 時間を過ごして頂けるよう微力ながら頑張りますので、 みなさんいらして下さいね。お待ちしております。

楠村 佳代子(昭58年卒)





男のロマンを感じるスポーツ」

「ラグビーを観戦したことがある人?」と質問をして何人 の人が手を上げられるのでしょうか。

野球やサッカーに比べてマスコミへの露出度が少ないラグビーは、今のところマイナーのスポーツかも知れませんが、大男が走り、そして激突するラグビーは、非常にスリリングでエキサイティングなスポーツです。2019年には日本でワールドカップが開催されます。是非、秩父宮ラグビー場に足を運んでみてください。

今シーズン、社会人は三洋電機、大学では帝京が優勝しましたが圧倒的な強さではなく、各チームの戦力は拮抗しており、面白い試合が見られるはずです。往年の神戸製鋼の平尾や新日鉄釜石の松尾といった全国区のスターは見受けられませんが、明日のスターを見つけることも楽しいことではないでしょうか。(私の贔屓は、東芝のフルバック立川選手とサントリーのウイング小野沢選手です)

来シーズン、東京鶴城会の皆さまと秩父宮ラグビー場でお 会いできる日を楽しみにしています。因みに宇土高校にも昔 はラグビー部があったことをご存知ですか?

萩原 秀文(昭42年卒)

私は、親友のY社長と10年来、二人で優雅に?クルーザーに乗り、釣りを楽しんでいます。アジ、イサキ、タイ、イナダ、ワラサ、時期によって一年中釣れます。普段は、松輪、州崎、大島付近を走り回ります。平成21年5月、Y社長、社員のA子さん(グラマー美人の40歳)と私の3人でイサキ釣りに行きました。

当日は、快晴べたなぎでした。11時に漁場に到着しました。水深35M、上から20M漁探に反応があり、すぐに3人ともイサキがヒットしはじめました。当日は、大漁で50匹ほど釣れましたが、午後2時頃に南風が吹き始め、船が左右に揺れだしたため、慌てて竿を投げ出し帰路につきました。ところが、A子さんは気分が悪くなり船酔いが激しく、上半身を船からはみ出している状態で、私は、彼女が船から落ちない様に背後から支えていました。Y社長が突然、大声で「それではダメ。抱きつけ!」とアドバイスしたため、思いっきり彼女に抱きつきました。その瞬間、彼女のお尻に私の鼻がくい込んでしまい、私は変な気持ちになり、冷や汗をかいてしまいました。結局、無事に陸に上がりましたが、海の怖さを知ったほろ苦い思い出でした。

